



岡山大学記者クラブ 御中

令和4年6月30日
岡山大学

今、注目の「ワクチン」について学ぼう！
公開セミナー「妊婦・子どもを守る」
産科・小児科スタッフ・保健師のための「ワクチンの知識」
をオンラインで開催

◆発表のポイント

- ・新型コロナウイルス拡大により、良くも悪くも「ワクチン」に注目が集まっています。妊婦や子どもへの各種ワクチンの安全性など、種々の疑問にお答えします。
- ・日本政府が宣言した「2020年までの風疹撲滅」は実現しませんでした。また、梅毒の感染が全国的に増加しています。私たちは何を知り、何を実行すべきでしょうか。
- ・接種について、国が勧奨を差し控えていた「HPV ワクチン」ですが、4月から勧奨を再開、キャッチアップ接種も始まりました。
- ・産科や小児科のスタッフ、保健師はもちろん、子どもを育てる全ての人々に参加していただき「ワクチン」について考えます。

新型コロナウイルス感染拡大を経験し、今、感染症との闘いは人類にとって大きな課題となっています。2013年から、岡山大学大学院保健学研究科では、岡山県や岡山県産婦人科医会と連携し、「風疹撲滅」に向けての啓発セミナーを開催してきました。しかし、2018年の夏から2019年にかけては、関東地方を中心に風疹が流行し、先天性風疹症候群の赤ちゃんが生まれました。日本政府は、2020年までに根絶を目標としていましたが、残念ながら達成されませんでした。先進国で、このような流行の見られるのは日本だけともされています。

また2016年以降、全国的に梅毒感染の報告が急増しており、中でも岡山県は一昨年、人口100万当たりの梅毒感染者数が東京大阪に次いで全国第三位となっています。昨年も東京高知大阪に次いで第四位となっており、梅毒のまん延が問題となっています。

さらに、副反応の報道から、国が積極的な接種の勧奨を差し控えていたHPVワクチン（子宮頸がんワクチン）ですが、2022年4月から接種の勧奨を再開するとともに、取り残されていた若年女性へのキャッチアップ接種も始まりました。

今回は、日本のワクチン行政に深く関与されている医師のお一人でもある川崎医科大学小児科の中野貴司先生、岡山県の感染症対策担当者、先天性風疹症候群の子どもたちと家族の会である「風疹をなくそうの会『hand in hand』」の方々をお招きし、産科や小児科のスタッフ、保健師はもちろん、子どもを育てる全ての人々に知ってほしい「ワクチンの話」をお伝えします。

『Zoom』を使用したオンラインでの公開セミナーのため、パソコン、スマホ、タブレット等をお持ちでしたらどこからでもご参加いただけます。高校生や大学生の参加もお待ちしております。

アドバンス助産師の更新申請としてもご利用いただけるセミナーです。奮ってご参加ください。



PRESS RELEASE

<開催概要>

1. 名 称 公開セミナー「妊婦・子どもをまもる」
産科・小児科スタッフ・保健師のためのワクチンの知識
2. 日 時 2022年7月16日（土曜日）12:30～16:30（オンライン開催）
3. 対 象 者 どなたでも参加いただけます。（要事前申し込み）
4. 申込方法 メール（josan@cc.okayama-u.ac.jp）に、お名前、ご連絡先、ご所属を本文に明記してお送りください。
アドバンス助産師の更新申請に本セミナーを使用したい方は、メールに「参加証明書希望」と書き添えてください。後日メールにて証明書 PDF をお送りします。
※締め切り：7月15日（金）15時まで
5. 参加費用 無料

<補足>

詳しい情報は、岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室ホームページをご参照ください。

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>

◆研究者からのひとこと

「With コロナ/Post コロナ時代に子どもを持つこと」は新たな重要課題です。中塚研究室では、多くの研究者や学生がリプロダクションやジェンダーについて研究しています。気軽にご連絡ください。

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>



岡山大学学術研究院保健学域
中塚 幹也 教授

<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院保健学域
教授 中塚 幹也
(電話番号・FAX) 086-235-6538

岡山大学大学院保健学研究科
「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム事務局
(電話番号・FAX) 086-235-6538

